

## 新時代のお遊び場 子どもをとり巻くあらゆる場所に



024 Hospitals

片瀬  
こどもクリニック

クライアント：  
片瀬こどもクリニック  
所在地：神奈川県藤沢市  
施工：2005年5月  
面積：25㎡

「子どもや親の負担や不安を減らし、できるだけ楽しく受診を」という院長の理念により、子どもの辛さや不安を忘れさせる手あそび遊具を中心にあそび場を提案。待合室の壁面を利用したプレイウォールや木製ビーズを動かして遊ぶ「ルーピング」に加え、各診察室にもモビールなどの遊具を揃えて子どもが自由に遊べるようにした。従来の病院の印象を打ち破る居心地の良い空間が完成した。

明るく開放的な雰囲気「片瀬こどもクリニック」は、江ノ島電鉄湘南海浜公園駅近くにある小児医院。「なるべく病院らしくない、子どもは楽しく遊べて親も安心できる環境で診察を」という片倉院長の想いを基に、ポーネルンドがあそび場を提案しました。これは、看護師の奥様が横浜みなとみらいにある「ポーネルンド あそびのせかい」で、デザインと安全性を兼ね備えた遊具に惹かれたことがきっかけ。待合室に完成したプレイルームには、パペットやプルトイ、ルーピン

グ、マジックテープ付プレイウォールなど素材感の異なる遊具がずらりと並びます。治療室や検査室にもモビールを吊るすなど、子どもがあそび場と間違えるほどカラフルで楽しい空間が完成。病気の苦痛や不安から子どもが泣く機会もぐんと減り、ご両親のストレスが大幅に和らいだだけでなく、地域の子育てステーションとしてコミュニティもできつつあるそう。子どもに「あの病院ならまた行きたい」と思わせる新しい空間づくり。そこにもポーネルンドが関わっています。

024

